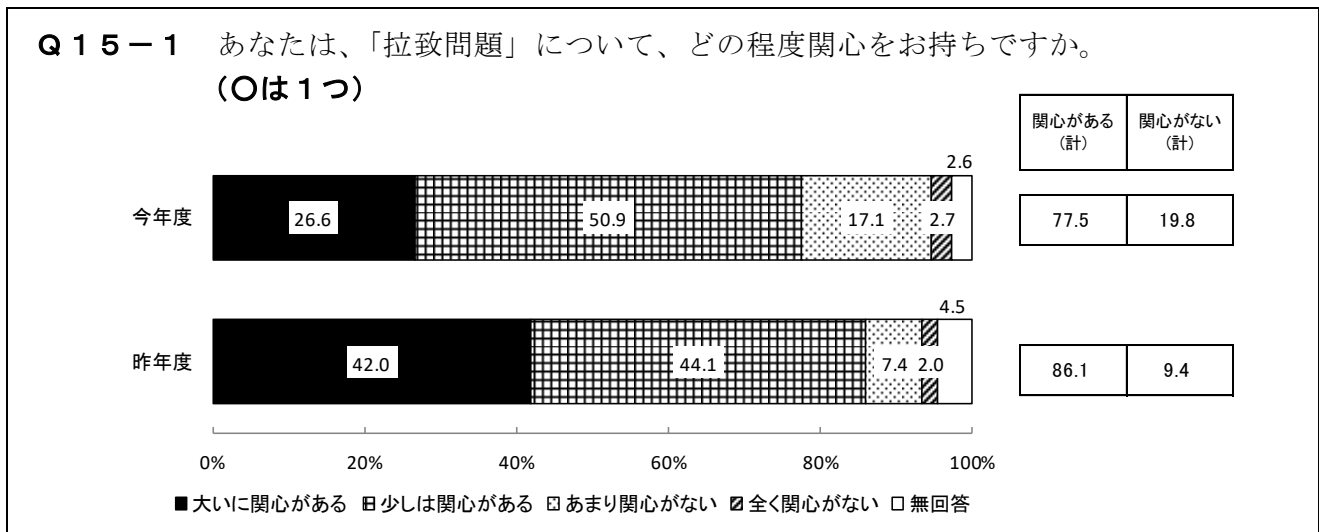


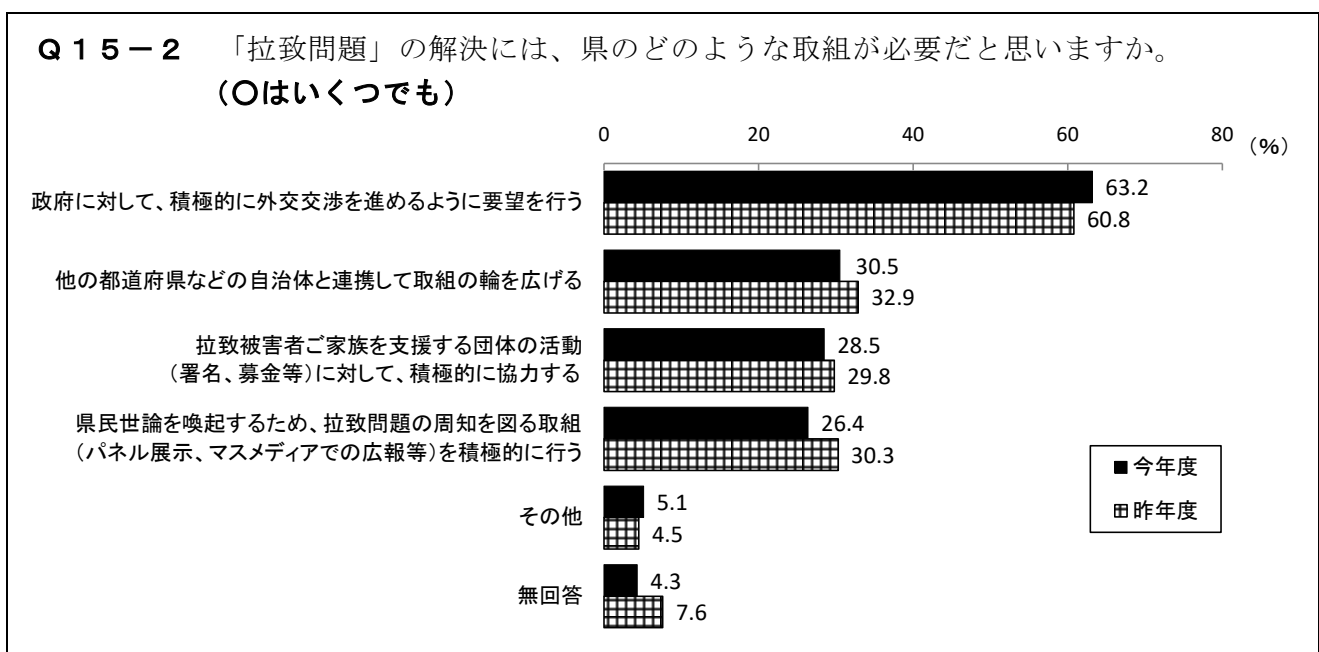
15. 拉致問題について

15-1. 「拉致問題」についての関心



「拉致問題」について、「大いに関心がある」と「少しは関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が 77.5%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた『関心がない (計)』が 19.8%と、関心を持つ人の割合が高くなっている。昨年度と比較すると、『関心がある (計)』が 8.6 ポイント低下、『関心がない (計)』が 10.4 ポイント上昇となっている。

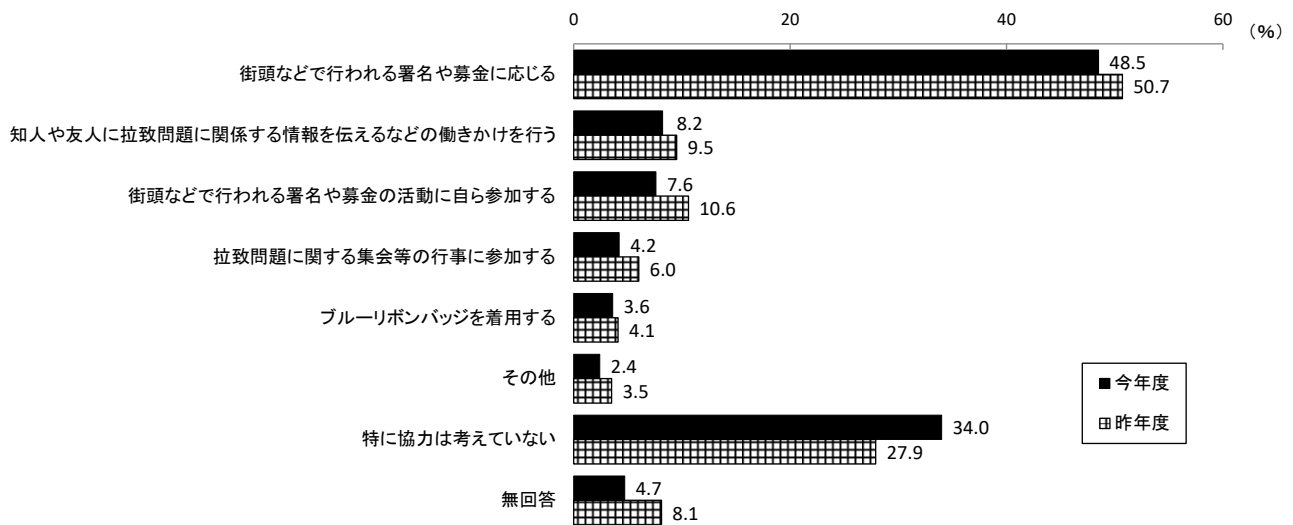
15-2. 「拉致問題」の解決のために必要な取組



「拉致問題」の解決のために必要な取組について、「政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う」が 63.2%と最も高く、次いで「他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる」が 30.5%の順となっている。昨年度と比較すると、「県民世論を喚起するため、拉致問題の周知を図る取組 (パネル展示、マスメディアでの広報等) を積極的に行う」が 3.9 ポイント低下している。

15-3. 「拉致問題」の解決に向けての今後の協力

Q15-3 拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。（〇はいくつでも）



「拉致問題」の解決に向けて今後協力していきたいことについて、「街頭などで行われる署名や募金に応じる」が48.5%と最も高く、次いで「知人や友人に拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う」が8.2%、「街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する」が7.6%、「拉致問題に関する集会等の行事に参加する」が4.2%、「ブルーリボンバッジを着用する」が3.6%の順となっている。また、「特に協力は考えていない」は34.0%となっており、昨年度と比較すると6.1ポイント上昇している。